



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版

松本純

平成20年6月1日号  
発行 かながわ1区支部  
編集長 平木 茂

6月号  
2008年  
No.64

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 道路特定財源は10年続く、それとも1年限り？ 今こそ、ねじれ国会でのレベルの高い政治を



ガソリン税の暫定税率などを今後10年間道路整備にあてることを定めた道路整備財源特例法改正案が5月13日、衆議院本会議で再議決されて成立しました。一方、政府は同日、この道路特定財源を来年度から一般財源化することを閣議決定しました。

「再議決と閣議決定は矛盾していて分かりにくい」。そんな声が私のところにも多く寄せられています。道路特定財源が今後10年間続くのか、それとも1年

後には道路整備に限定されなくなるのか？ 結論を先に言えば、来年度から道路特定財源は一般財源に繰り入れられ、道路整備以外にも使われるようになります。

では、なぜこんな分かりにくい決定になったのでしょうか。改正案を修正して「10年間」を「1年限り」としておけば、双方に矛盾はなく混乱を招くこともなかったのですが、“ねじれ国会”で与野党が鋭く対立する状況がそれを許さなかったのです。

改正案は衆議院で可決され、参議院では否決されました。その法案を修正して衆議院に再提出するには、野党との修正協議が必要ですが、野党はこれに応じませんでした。一方でこの改正案が成立しないため、特定財源から地方自治体への約7000億円の交付金が配れず、各地で道路工事の凍結が続くという切羽詰った状況が続いていました。

そこで政府・与党は法案の修正なしで再議決を図り、閣議決定で道路特定財源の一般財源化の道筋を示すという措置をとったのです。私は、衆議院の再議決は憲法59条の規定に従った正当なものであり、再議決と閣議決定の矛盾も緊急避難措置としてやむをえなかったと考えています。

ですから矛盾を解消するためには、道路特定財源の一般財源化を実現させるということに尽きます。そのためには早い時期から党内協議を始め、与党協議、さらに与野党の政策協議へと進めていかなければなりません。その中で税制全体を含めて国民の皆さんの理解をいただく。これが「衆参ねじれ現象下でのレベルの高い政治」ではないかと思えます。

●おことわり まちかど政治瓦版に関して先日、「チラシは入れないようにと言ったのに入っていた」という電話をいただきました。瓦版は多くの皆さんに、松本純の政治活動と意見を伝えるために直接お届けしています。しかし、「必要ない」という方には送付を取りやめますので、その旨ご連絡ください。

## 松本議員の国会レポート⑤①

平成20年

【4月27日(日)】

- 午前9時30分 ●中村太郎杯争奪剣道大会
- 午後5時 ●浜マーケット感謝イベント
- 午後6時 ●三艘屋台保存会総会・懇親会

【5月7日(水)】

- 午前7時 ●第49回早朝駅頭演説会 (六浦駅)
- 午前11時 ●医薬品医療機器総合機構からの説明聴取
- 午後2時 ●アスベスト問題対策関係合同部会
- 午後2時30分 ●「薬事政策のあり方についての検討方向」に関して官房長官へ申し入れ
- 午後4時 ●地球温暖化対策推進本部
- 午後6時 ●故佐藤新一氏(竹内英明自民党神奈川県連幹事長のご尊父) 通夜

【5月13日(火)】

- 午前9時30分 ●役員連絡会
- 午前10時 ●副幹事長会議
- 正午 ●スポーツ立国調査会
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●本会議
- 午後6時30分 ●「岩屋毅新時代政経セミナー」懇親会パーティー

磯子区の浜マーケットは戦後の闇市から発展した商店街ですが、昨年4月27日、放火で36店のうち17店が焼けてしまいました。再建を断念した店もありましたが、残った店はボランティアの人たちの協力も得て営業を続けてきました。あれから1年。25日から3日間、感謝イベントが行われました。まだ被災の爪あととは残っていますが、店の人たちの表情が明るいのが何よりでした。焼けた店の再建はこれからだそうですが、皆さん、どうぞ頑張ってください。

アメリカがホッキョクグマを絶滅危惧種に指定したという報道がありました。地球温暖化によって北極の氷がとけだし、このままでは生活の基盤を失いかねないからです。私たちもあらゆる面から、温暖化対策に取り組んでいます。この日は中村邦夫・松下電器産業会長ら3人から話を聞きました。中村会長は省エネ家電の普及促進について報告し、「省エネ家電への賢い買い替えや太陽光発電など家のインフラ整備を進めるための政策導入を」と提言されました。

スポーツ立国調査会の麻生太郎会長のもとで私は事務局次長を務めています。この日は2016年のオリンピック招致を進めている東京都の石原慎太郎知事が講師です。知事は「開催費用については経済界からの協力も得てカバーする自信はあるが、誘致を国際的に訴えていくには、なりよりも政府の保証が必要なのでしっかり支援してほしい」と訴えました。国内最大規模の「東京マラソン」を成功させた石原知事。五輪へ向けても支援体制の確立が急がれます。



▲4/27 中村太郎杯争奪剣道大会で。林家 太久馬師匠、小泉元首相、中村大義塾塾長と



▲4/27 浜マーケット縁日で。火災での打撃を乗り越え元気に復活です。



▲5/5 中区少年野球大会開会式で仲尾台中吹奏楽の皆さんの演奏に感激!



▲5/15 中区の老人クラブの連合会の皆さんが国会見学に来てくださいました。

## 永田町日記 アフリカ開発会議から開港150周年へ

アフリカの開発をテーマとする「第4回アフリカ開発会議 (TICAD IV)」が5月28日～30日、横浜のみなとみらい21地区を中心に開かれました。会議はアフリカの40カ国以上から元首・首脳級が集まるというわが国外交史上で最大規模のものとなりました。貧困、食料不足、HIV/AIDSなどいぜんとして深刻な諸問題に、環境・気候変動などの新たな課題も加えて、熱のこもった議論が展開されました。また初日には、アフリカでの医学研究・医療活動に尽くした人に贈られる野口英世アフリカ賞の第1回授賞式も行われました。野口博士といえば、若いころに金沢区の長浜検疫所に勤めたことがあり、まさに横浜開催の国際会議にふさわしい賞の授与でした。そして、この重要な国際会議が横浜で開かれた意義とは、何と言っても、来年開港150周年を迎え、国際都市として発展してきた横浜が、この会議をきっかけにアフリカの発展にも貢献していくというメッセージを参加国の皆さんに力強く発信できたことではないでしょうか。(純)

まつもとじゅん プロフィール▶ 昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。